

一般質問

第3回定例会では、13人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。

映像配信は
コチラ

議会を動画で見よう！

- ◆「QRコード」をスマートフォンなどで読み取ると、インターネットで録画配信している本会議全体の様子をご覧になれます。
- ◆一般質問記事の内側にある「QRコード」を読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



南島原市議会 中継

Q検索

学校給食費の減免についての現況は

来年4月から実施したいと考え、詳細について検討を進めている。

市長



近藤 一宇 議員

学校給食費の減免について

議員 どんな検討をされたのか。

教育次長 支援の対象をどういったお子さんにするのか、どういった補助率にするのか、検討している。

子ども医療費の現物給付について

議員 現物給付がなぜできないのか説明を。

福祉保健部長 他の自治体の制度と異なる。各医療機関でも電子カルテが導入されていて、システムの改修も必要。現時点で

の導入は厳しい。

議員 未就学児については全国ほとんど現物給付。未就学児で現物給付ができていないのだから、どうにか努力すれば子ども医療費の現物給付はできるはず。南高医師会、島原医師会、雲仙市、島原市、南島原市などが一緒になって協議ができないものか。

子供に熱が出た、大げがをした、虫歯の治療、こんなとき窓口で支払うお金がないと治療が受けられない。「命を大事にする」「子育て支援のまちづくり」を目指すなら現物給付にすべきだ。

福祉保健部長 福祉医療制度を、高校生まで範囲を拡大している自治体が全くなっているならば、現物給付も可能になってくるのではないかと。

国保の未就学児の均等割について

議員 子供が生まれると、収入もないのに4万円前後の保険料を納めなければならぬ。均等割制度は国保だけだ。20

22年度から国が半額を負担する。あとの半額を市で負担する考えは、市で負担する考えはない。

市長 今のところ考えていない。

議員 全国では国に先行して実施したところもあるし、高校まで減額という自治体もある。市長、如何か。

市長 先ほど申し上げたとおりである。

議員 はじめからするつもりはないではなく、どうすればできるか、財源の問題でもあるから、できる方法を研究して実施してもらいたい。

市長 今、近藤議員がおっしゃったことは受け止めておく。

その他質問

- ・自転車通学
- ・通学時の持ち物
- ・4年生以上の児童生徒に持たせるタブレット端末
- ・コロナ禍における子供たちの学校生活
- ・児童生徒へのワクチン接種



質問の様子を動画で見よう

